デジタルカメラ撮影術

Webで使える売れるサイトやネットショップ
のためのデジカメ撮影ノウハウ

Index

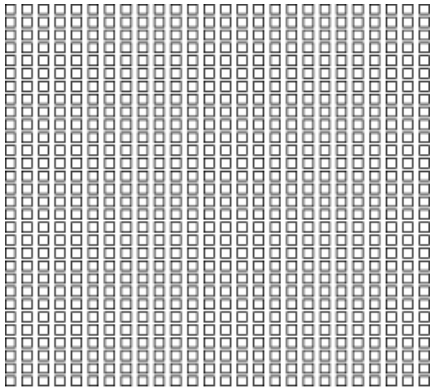
1. 曲者はセンサー
2. 画素数はものさしの一つ
3. 過信しちゃ駄目です
4. 自分の足元
5. これが「白」
6. 混ぜるな危険
7. レンズは丸い
8. 誇張と圧縮
9. 言葉の意味
10. 絞りと光
11. 全ピン
12. 正比例
13. がぶり寄り!
14. カメラに任せる
15. ツーマンセル
16. 一番悩む・・・
17. 最高の小道具
18. 一歩下がって
19. シチュエーション
20. サンプル写真
    ・一眼でないと撮れない。
    ・コンパクトでもOK
    ・ボケ味、動くもの
21. 下手な鉄砲も!
22. エゴイスト

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

画素数と画質

一般的にデジタルカメラの性能比較でよく使われる画素数、その真実は・・・

画素数ってどういう意味なのだろう?



デジタル画像はドットの集まりです。
ドットは解像度でよく使われる単位、つまりモニタの性能を示す
単位としてよく使われてます(1024×768など)。

デジタルカメラの画素数とは解像度と同じ考え方
どれだけの大きさの写真を撮ることが出来るかということ
画素数とはデジタルカメラで写真を写す際に画像を構成する
センサーのドットの数を指します。

つまり1000万画素とは1000万個の点がセンサー上にあるということです。(解像度はおよそ3650×2750)

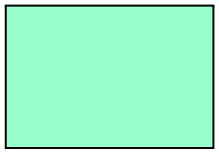
画素数が多いカメラの方が画像は綺麗なのか?
画素数が同じなら、コンパクトも一眼レフも同じなのか?
どのメーカーでも同じ写真が撮れるのか?

写し撮るときのセンサーが曲者なのです

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

センサーの種類と大きさとドット

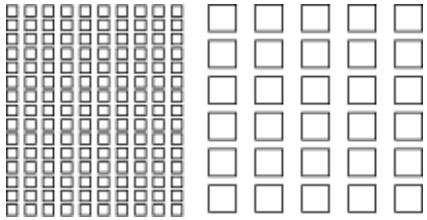
写真とは光。光は多い方が明るくて綺麗です。
では光が多いとは・・・・どういう意味？



コンパクト
最小4.8mm×3.6mm
最大8.8mm×6.6mm

標準的な
デジタル一眼
22.7mm×15.1mm

35mm FILM
36mm×24mm



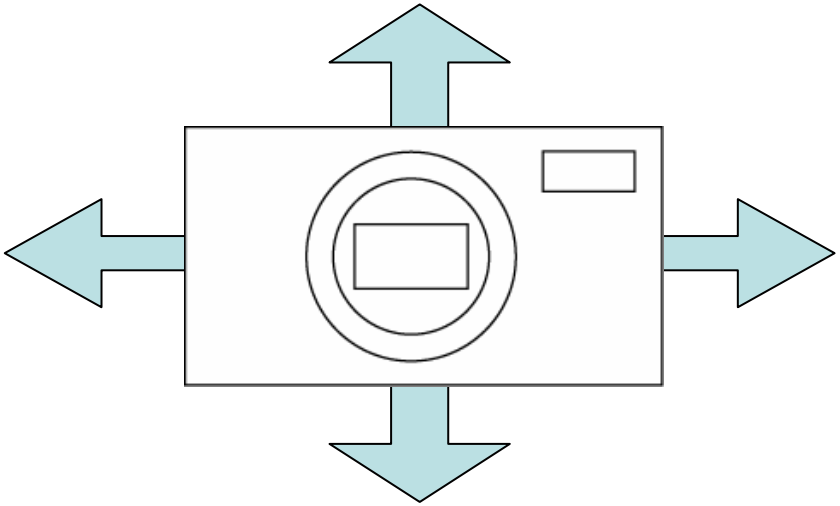
デジタル一眼とコンパクトオートは
受光部のセンサーの基本的な面積が違います。
つまり**同じ画素数ならデジタル一眼の方がセンサーのドットが大きい**ので、取り込める光の量が多いということになります。

画素数は性能を測るひとつの物差しでしかない

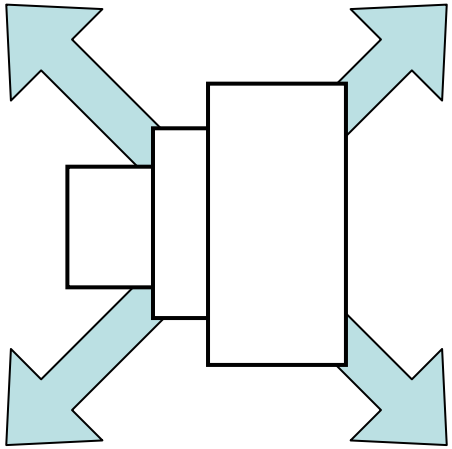
Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

手ぶれ補正の誤解

私のカメラには手ぶれ補正（ジャイロ）が付いてるから大丈夫!
「ちょっと待ってください」正しく理解してくださいね。



この方向のブレには確かに
多少対応します。



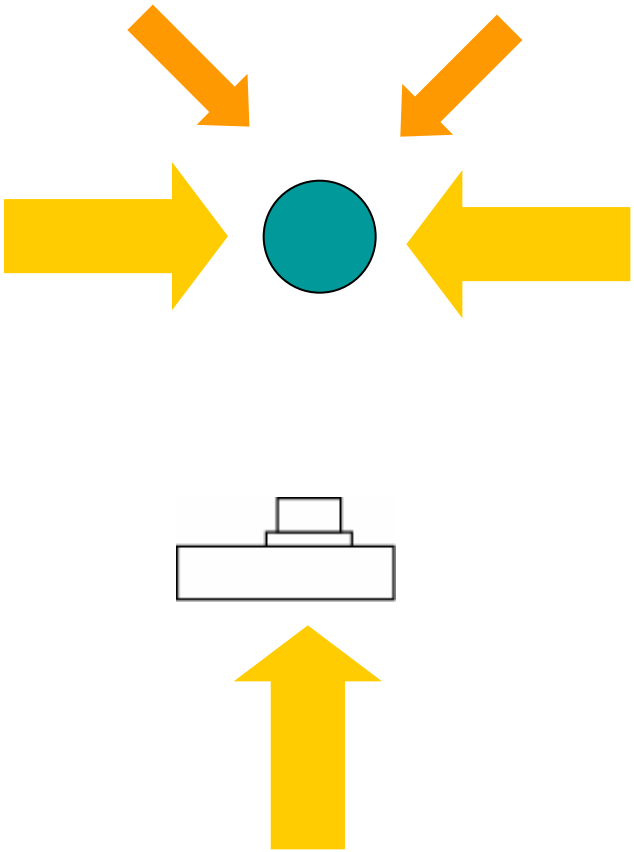
こんな方向のブレには
絶対に対応できません。

手ぶれ補正は過信しない、もしもの時の保険程度

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

光に気をつけよう

意外に守ってない・・・・時々驚きます。



見やすい写真を撮ろうと思ったら、
光の向きが重要です。
少なくともカメラの後ろから真横までの
範囲で光を受けるようにしましょう。
特に室内だと忘れがち・・・
写真を撮る前に、自分の足元の影を見
て、光の向きを確かめるクセを付けるこ
とが必要です。
テクニカルな写真を狙うなら、後方45度
ぐらいまでを使ってみるのもいいでしょう。

写真を撮る前に自分の足元を見るべし

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

デジタルカメラはホワイトバランスが重要です

白ってデジカメには判断できないことが多いのです。

光の種類（太陽光や蛍光灯など）により、被写体の色は変化します。このような時に白を白に補正する機能をホワイトバランスと言います。

特に室内では重要です。電球と蛍光灯では白の基準が違います。
室内できちんと色を出したい場合は設定する必要があります。
外で撮る場合は基本的にオートで十分対応しますが、夏場の日陰などは注意が必要。

デジカメに「これが白」を教えることが重要

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

もしも・・・室内でちゃんとした写真を撮るのなら

きちんと色が表現できている写真が欲しい。
室内で撮らないといけない場合は・・・・

電球、蛍光灯、ファッションランプなど、室内には様々な色の光源がある場合があります。
特に窓際などは、太陽の光も入ります。
特に水銀灯などは絶対にNG、必ず色が変になりますよ。

様々な光が入る場所では、デジタルカメラはホワイトバランスの調整が出来ません。
写真屋さんのスタジオに基本的に窓がないのはそういう理由なのです。

混ぜるな危険

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

広角と望遠の考え方（ゆがみ・ひずみ）

広角は広く撮れる、望遠は遠くのものを大きく撮れる・・・・
それ、ちょっと違うんです。

レンズの広角側での撮影

レンズの望遠域での撮影

広角域（14ミリ～35ミリ）
肉眼よりも広い空間を切り取れると同時に、遠近感が誇張されます。

標準域（40ミリ～90ミリ）
肉眼に近い視野を持ち、素直な描写が特徴

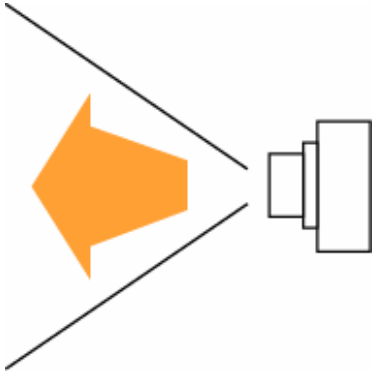
望遠域（100ミリ～300ミリ）
遠くの被写体を引き付けて撮影するには最適です。また被写界深度が浅く、圧縮効果が得られるのも特徴

レンズは丸い、丸いんだから当然ゆがむ

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

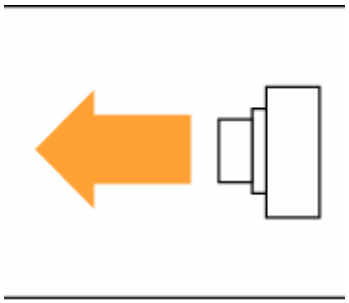
広角と望遠での写真の違い

広角の視野



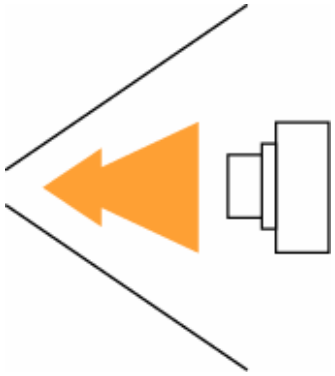
14mm～35mm
肉眼よりも広い空間が見える。
近くのものが遠くに見える（遠近感が誇張）される。

標準の視野



40ｍｍ～90ｍｍ
肉眼に近い視野。
ゆがみは少ない。

望遠の視野



100mm～300mm
肉眼よりも視野が狭くなる。
遠くのものが近くに見えて（遠近感が薄くなる）圧縮される。

豆知識
人間の目は24mmレンズ程度の視界を持つそうです。
でも、そのうちはっきりピントのあっている範囲は35mmレンズの視界程度。
じっと物を凝視すると、その視界は100mmレンズと同等だという実験結果があります。

誇張と圧縮を正しく頭に入れれば大丈夫

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

露出って何?

言葉は難しいですが、意味を理解するのはそんなに難しくありません。
もちろん、写真撮影においては露出の決定は非常に重要で、奥が深いものですが・・・・

露出とは、一言で言うと**「明るいか暗いか」**です。
カメラの受光部に達する光の量を多くすれば明るい写真になりますし、
少なくすれば暗い写真になります。

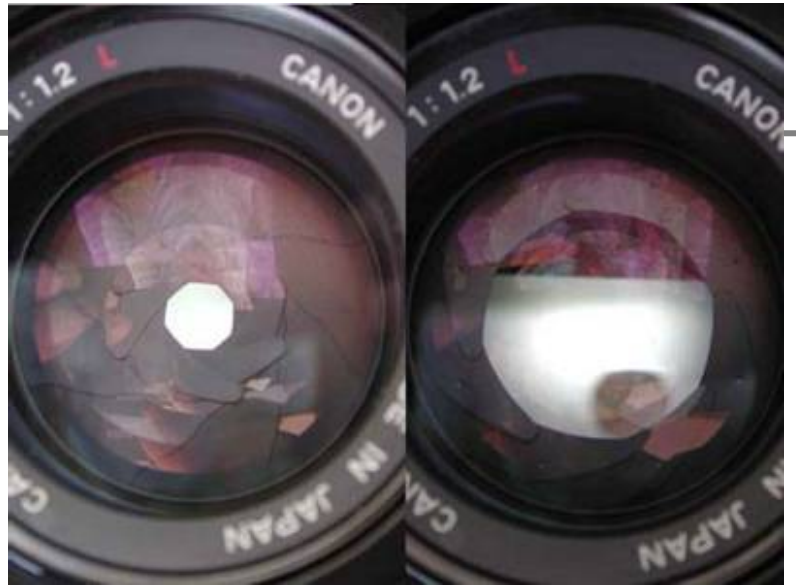
「適正露出」という言葉があります。
これは「ちょうどよい明るさの写真」と解釈してしまっていいと思います。
ちなみに、写真は見る人によって感じ方が違うので、適正露出の答えは
人それぞれ違いますけどね・・・・。

適正露出より明るいものを**「露出オーバー」**、適正露出より
暗いものを**「露出アンダー」**といいます。

ここでは言葉だけ、重要なのはこの後

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

絞り(被写界深度)とF値



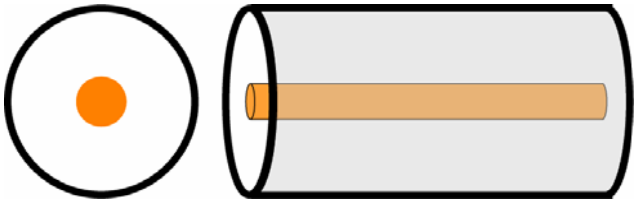
F値の意味

これはレンズの明るさを表す単位として用いる場合と被写界深度(絞り)を示す単位として用いる場合があります。レンズの明るさを示す単位として使う場合は数値が小さいほど明るくなります。 **例:F2.0(明るい) ＞ F4.5(暗い)**
でも、ほとんどの場合F値は被写界深度(絞り)の単位として使用します。

絞りとは?

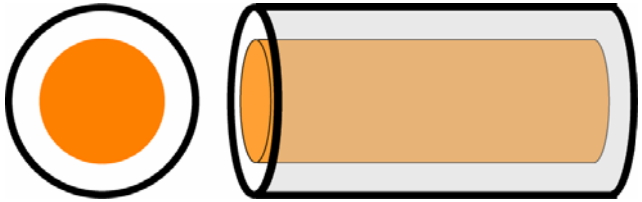
レンズの中には円形になった羽があります。この羽を絞って光が通る量を少なくしたり、羽を開いて光が通る量を多くしたりすることができます。

羽を絞ると光が通る量が少なくなる



F5.6(絞っている)

羽を開くと光が通る量が多くなる



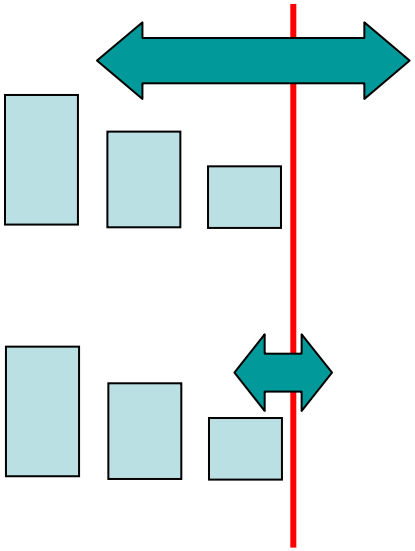
F2.0(開いている)

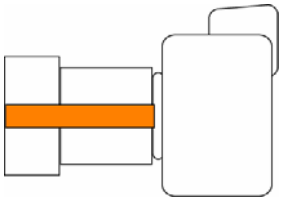
まずは絞りと光の関係を理解してください

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

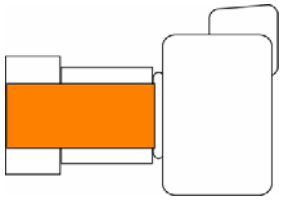
絞るとどうなる？　開くとどうなる？

絞りを絞れば（絞り値を大きくする）ピントの合う範囲が深くなります
逆に絞りを開けば（絞り値を小さくする）ピントの合う範囲は狭くなります。

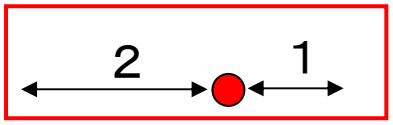




絞った（数値を大きくした）場合
・ピントの合う範囲が広くなる
・シャッタースピードが遅くなる



開いた（数値を小さくした）場合
・ピントの合う範囲が狭くなる
・シャッタースピードが速くなる



この性質を利用して、背景をぼかしたい時には開き、全体にピントを合わせたい時は、絞って自分のイメージに近い写真が撮れるようになります。

絞りまくった写真を全ピンと呼ぶ

オートのカメラは絞りを開放してもF値は4. 5程度、絞っても8程度までしか絞れません。

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

シャッタースピード?

シャッタースピードを早くする
- **絞りを開く**
- **ぶれにくい**

早くするためにはとにかく光がたくさん必要です。光が足りないと暗くて何が写っているのかさえもわかりません。

シャッタースピードを遅くする
- **絞りを絞る**
- **ぶれやすい**

暗い場所での撮影によく使います。
星の動きの撮影などにはシャッタースピード4時間なんてとんでもないものもあります。

写真の明るさは光の量に正比例する

私はシャッタースピードの変更はほとんどありません。

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

マクロモード

マクロには望遠マクロ（100ミリ以上）と広角マクロ（28～35ミリ前後）があります。
通常コンパクトオートのカメラに搭載されているのは広角マクロです。
どちらも至近距離（15cm以内）での撮影の場合は大差はありません。

コンパクトオートでのマクロ撮影

・マクロモード（チューリップマーク）に切り替えるだけです。
・30cm以内で被写体を撮る場合は必ずマクロモードにしましょう。
・被写界深度（ピントの合う範囲）が浅くなります。
・手ブレに注意してください。
・動く被写体には使わないで下さい。
・光が足りないと綺麗な写真になりません。

脇を締めて、思い切ってがぶり寄り！

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

モード撮影?

コンパクトオートカメラや一部のエントリー一眼レフについている「撮影モード」って何でしょう・・・・??

さて、今までの話の総括に近い話に成ります。
露出、絞り、シャッタースピードは撮影時の光の量や撮影目的によって設定が多種多様に異なります。これをいちいちマニュアルで設定するのはプロでも難しいのですから、素人には当然無理!

ならばこの設定、自動で何とかならないものなのか?
というわけで各メーカー色々考えて設定が簡単に出来るようにしました!
それが撮影モード。

スナップ・スポーツモード・マクロモード・夜景モードなど様々な状況で綺麗な写真が簡単に取れるように**露出、絞り、シャッタースピード**などを設定してくれるのが撮影モードです。積極的に切り替えていけば面白い写真が撮れますよ。

解らなければカメラに任せればいい

撮るものに最適なモードに切り替える癖をつけるだけです

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

人の写真を自然に撮るには

カメラが自分の方を向けば緊張するのは当然。
ならば、自然な写真を撮るにはどうすればいい?

・二人一組で撮影します。

・必ず現場で写真を撮ります。
一番いい顔をするのはやっぱり現場。

・現場で作業をしてもらいます。

一人はお話役。
話しかけて、会話をし、カメラから注意をそらします。
カメラマンは望遠でこっそり撮る。
これが自然な写真のコツ。

人間を撮るならツーマンセル

子供を撮るなら一眼レフ!

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

やさしくてやわらかい写真

人間の手を上手に使いましょう。

やさしさや、温かさ、やわらかさなどを表現するのなら、人の手を上手に使いましょう。
温かさを一番うまく表現できるのは、やはり人間。
品物の大きさを見るのにも手ごろなんですよ。

人に勝る小道具なし！

子供が最強なんですけどね

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

加工が前提、緩めのアングルで撮る

ネットの写真は切ったり加工したりが前提。だからアングルはちょっと緩め。

いっぱいいっぱいのアングルで撮ると、後での加工が難しくなります。
だから思ったところより少し引いて撮るのがコツ!
上下左右の余裕があれば、右にずらして切ったり、左にずらして切ったりが楽になります。

一歩下がれば後が楽

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

コンパクトと一眼レフの違い（比較）

	一眼デジカメ	コンパクトデジカメ
シャッターの反応速度	早い	遅い
解像度	画素数が同じであれば、こちらのほうが勝る	画素数が同じであれば、やや劣る
連続シャッター	秒間3コマ～10コマの撮影が可能	出来ないものが多い
レンズ交換	出来る	出来ない
ボケ味	撮像素子が大きいぶん、ボケ味はだしやすい（レンズ性能による）	撮像素子が小さいため、ボケ味はだしにくい
機動性	コンパクトデジカメと比べると落ちる	重量が軽く機動性は高い
値段	6万円くらい～	1万円くらい～

結局は撮りたいものやシチュエーションをまず考えること

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

サンプル写真

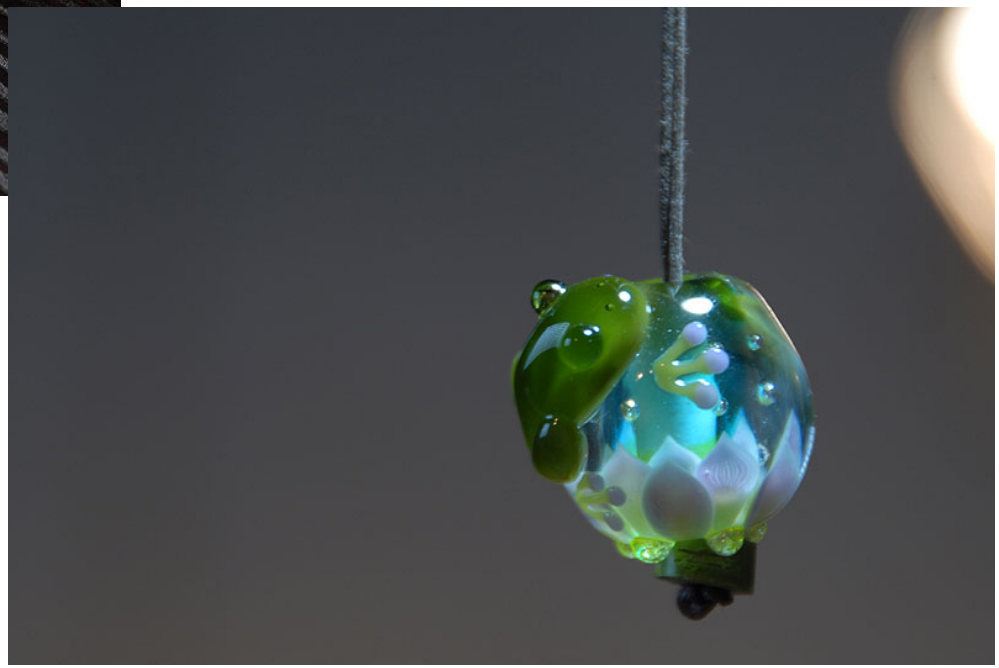
太陽の光の当たっているところをきっちりと
見て撮影すれば明るい写真になる。
この写真はコンパクトも一眼も関係なし!
晴れている日の外でのスナップ撮影は、コンパクトオートと一眼レフでの差を見つけることはほとんど無理です。

絞りを使ったボケ味の表現
これは一眼レフならではの開放
F値で撮ってます。
ボケ味表現は一眼レフが最適

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

サンプル写真

和のテイストを出すために
対象物の斜め後ろからの光を使って撮影
このあたりはコンパクトも一眼も大差なし。
光の使い方をちょっと工夫するだけなので
カメラは関係ありません。



暗いところで三脚固定で撮影したもの。
絞りを開けているので背景がボケている。
この撮影は一眼レフでないとちょっと無理。

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

サンプル写真

人、特に子供を撮影するときはシャッターの反応速度の速い一眼レフが断然有利になる。

少ないチャンスに枚数を稼ぐことが出来る一眼レフは、動くものを撮るのに最適
動くもの、微妙なボケ味は一眼レフにコンパクトオートは適いません。

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

撮った枚数だけ上手くなるのが写真

いい写真を撮るためのアドバイス。

■念のためのシャッターを忘れないで下さい。

1枚じゃなくて念のためにもう2枚。失敗しないためにはまずこれがポイント。

■角度を変えて撮るのを忘れないでください。

ひとつの角度からではなく、ちょっとだけアングルを変えるだけで写真は変わります。

■光の存在を絶対に忘れないで下さい。

写真と光はセットです。光のことを絶対に忘れないでください。あとホワイトバランスもね。

■下手だと思った瞬間にあなたは写真が下手になります。

モチベーションとテンションが大切です。写真にはあなたの気分が写ります。

■苦手だと思わないで下さい

いやだな・・・と思っている人には絶対にいい写真は撮れません。

下手な鉄砲も数打ちゃ当たる！という勢いが大切！

習うより慣れろ。私たちはこの1年で5万枚以上撮ってます。

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.

撮った写真をwebで使う

Webで写真を使うのならば

■きちんと大きさを変えたり、画像を切ったりするソフトが必要

ホームページビルダーなどで画像の大きさを見た目だけ変えるのは基本的には禁じ手です。
容量の大きい画像は見る人に迷惑を掛けます。

■ALTタグに文章は絶対に入れる。

ALTタグに説明文の入っていない画像があるサイトは検索エンジンでの評価が大きく
下がります。きちんと検索エンジンに対応するためにALTタグは絶対に入れましょう。

■見る人の存在を忘れてはいけません。

ホームページは見る人の存在があってこそのもの。
見やすいページを作ることを心がけましょう、むやみに写真を大きく貼ったり、見えにくい
ほど縮小した写真を貼るのはやめましょう。

エゴイスティックになってはだめ

Copyright e.C.MORIMOTO, All Rights Reserved.